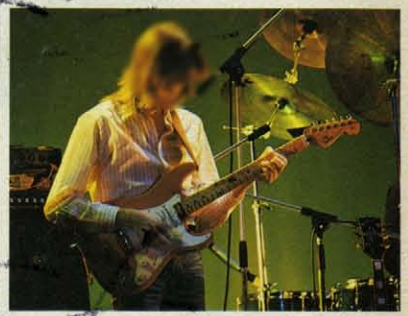
THE TIME THEY ARE A-CHANGIN'

ギタールネッサンスを告げるミュージシャン達の　ベストパートナー、トーカイエレクトリックギター＆ベース。時代はトーカイ。

JOE WALSH●ワールドステージでオーディエンスを圧倒し続けるジョー・ウォルシュ。イーグルスのみならず「ホテル・カリフォルニア」もジョー・ウォルシュ抜きにしては語れないといわれるほどだ。1981年5月18日の日本武道館コンサートでは全13曲中、6曲をTOKAIで弾くという熱の入れようだった。センシティヴなボーカルとギタープレイは独特のもの。

NICHOLAS MOROCH●オレンジエクスプレスの総集編'81渡辺貞夫コンサートのツアーメンバーとして初来日を飾ったニコラス・モロック（通称ニック）。これまでニューヨークでベースにスタンリー・クラーク、レニー・ホワイト、ヒュー・マサケラ、マイケル・フランクス等のバンドで活躍。'80年代もっとも期待されるフュージョンギタリストの1人である。彼の愛用ギターはトーカイSTピンクスペシャル、LS100S・OR、LS200V・VFの3本。さらに帰国後のバンド結成のためにJB85・FL、PB80・GSを購入するというエキサイトぶり。



IAN HUNTER●モット・ザ・フープル時代、数枚のアルバムを発表した後、'70年にはデヴィッド・ボウイーの曲「すべての若き野郎たち」'74年にはアルバム「革命」をヒットさせ一流のロックミュージシャンとして認知された。同時にソロ活動を開始。'75年に「双子座伝説」、'76年には「流浪者」を発表、その名声とともに卍型やH型の超変態ギターを使用することでも知られている。トーカイプロジェクトチームにも超変態ギターのオーダーがあり、現在製作中。写真のモデルは彼のお気に入りの1本、オリジナルエクスポートモデルだ。

MICK RONSON●デヴィッド・ボウイーのバックギタリスト兼アレンジャーとしてロック界にデビュー。ボウイーの人気上昇とともに彼の知名度も高まったが'74年に独立。1枚のソロアルバムを発表した後にモット・ザ・フープルに加入した。しかし1年にも満たないうちにリーダーのイアン・ハンターとともに脱退し、以後フリー活動に入った。'76年にはボブ・ディランの「ローリング・サンダー・レビュー」に参加して話題になった。現在はやはりニューヨークで活躍中。トーカイTX・130を愛用している。

TOKAI AUTHORIZED DEALER

the best musical products

Tokai

TOKAI GAKKI CO. LTD. HAMAMATSU JAPAN

●仕様・価格は品質の向上のため予告なく変更する場合があります。1982年12月1日現在。●印刷の特性上、ギターのカラーは実際と多少違う場合があります。

PRINTED IN JAPAN©